

平成 26 年度 第 2 回今宮工科高等学校・学校協議会（議事録）

日 時：平成 26 年 12 月 22 日 午後 1 時 30 分～

場 所：本校 視聴覚室

参加者：

<協議委員>（敬称略）

関西福祉科学大学	伊藤 一雄
今工会（同窓会）長	峯山 昭範
パナソニック エコソリューションズ カレッジ	小多田正美
萩之茶屋社会福祉協議会	田中 康夫（欠席）
萩之茶屋小学校長	枝元 哲
今宮中学長	堀端 和彦
PTA 会長	勝元 尚子

1 校長挨拶

○ 挨拶

2 創立百周年記念式典の報告

3 本校の課題について

- 人気産業活用人材育成事業について
- 工学系大学進学専科について
- 平成 26 年度進路指導概要（進路状況）について
- 平成 26 年度生徒指導について
- 中学校訪問について
- 授業アンケート、学校教育自己診断について
- その他 文化祭アンケート結果等

4 問題協議と提言 委：協議会委員 事：事務局（学校側） アンダーライン部：提言

委：工学系大学進学専科については、生徒達も頑張っている様子である。
今後、大学との連携も含めて興味深いところである。

委：工学系大学進学専科ができて、進学は何人くらいになると予想できるのか。また、その進学希望者全員の進学先を確保する必要があると考える。そして、工学系大学進学専科はさらに高いレベルの進学をめざすのか？工学系の卒業生が出るまでに、まず来年度準備しておくべきことをきっちりやっておく必要があると思う。

事：指定校等の拡大を図るとともに、総合募集と工学系の進学希望者について、校内選考等をどのように進めていくかの方針を決めていく予定である。国公立大学の推薦入試、公募制推薦入試や専門高校特別推薦入試などに挑戦していくよう、生徒に学力を付けていきたい。

委：学校が大変落ち着いてきてよい状況であると考えます。今後、進学面についても、さらに効果が出てくると思う。

委：今年の進路状況を見ても進路保障ができています。また、学校も落ち着いている。今後は、学力をしっかりとつけることが課題である。

- 事：SPIテストや今年から始めた外部実力診断テストなどを指標の1つとして、生徒の学力向上をめざしていきたい。
- 委：地域では今宮工科高校の悪い評判を聞かない。地域の学校として地域の行事等にも参加してもらっている。小学校と中学校の一貫教育に加え、さらに高校もつながった地域での活動を期待したい。
- 委：今宮工科高校に行きたく憧れの存在となっていて、今宮工科をめざしている子供たちも多くいる。
- 委：以前に荒れた時代もあったが、今は先生方の取組みも一生懸命で、学校はよくなっていると思う。さらに1歩でも2歩でもよくなることを願っている。卒業してよかったと思える学校にしてほしい。
- 委：普通科高校とは違い、工科高校は卒業してすぐに社会へ出る生徒も多い。そして、卒業してよかったと言う生徒も多い状況である。
- 委：先生が親身になってやっていただいていることをうれしく思っている。工科高校の中身について、中学生や中学校にはまだまだ浸透していないと思う。工科高校の学習内容や現状について、さらに中学校等へのPRに努めてほしい。中学校の先生には噛み砕いて説明する必要があると思う。
- 事：今後もPRに努めていきたい。中学校の若い先生方に工科高校について理解を深めてもらう方策等があれば、ぜひ教えてもらいたい。
- 委：工学系の生徒が大学を卒業して中学校の技術の教員になるなど、工科高校出身で中学校教員をめざす生徒を育ててほしい。

5 事務連絡

○ 次回以降の予定

平成27年3月4日(水) 10:30～ 第4回 課題研究等合同発表会

平成27年3月6日(金) 10:00～ 卒業式

学校長 謝辞